



香美市体育協会 功労賞

6月25日、香美市体育協会総会で、同協会に顕著な功績のあった小笠原美代子さん（土佐山田町）が表彰されました。

小笠原さんは、バレーボール部会の一員として競技人口の減少対策に努め、自らもプレーに積極的に関わりながら、バレーボールチームの代表監督として責任を果たしてこられました。



一斉清掃でまちをきれいに

6月5日、土佐山田町内で一斉清掃が行われ、早朝から側溝の泥上げや樹木の枝打ちが行われました。

当日は市職員約180人が回収作業にあたり、約67tの泥や樹木が回収されました。回収には市内業者からトラックと運転手の協力がありました。

また、香美市国際交流協会の主催により、高知工科大学の留学生らもごみ拾いを行い、地域の美化に協力しました。



▲留学生らは主に物部川沿いを清掃

香北の剣道クラブ 之善館 団体戦準優勝！

6月19日、県立室戸体育館で開催された第56回高知県武道室戸大会剣道の部で、大宮小学校4年生を中心とした『之善館』が、低学年団体戦で準優勝の成績を収めました。

練習の成果を発揮して獲得した好成績に、子どもたちは誇らしげな笑顔を見せていました。表彰状とともに大きな自信を手にした子どもたちの、さらなる活躍が期待されます。



▲左から武内啓太くん、小松璃久くん、黒木千陽くん、熊瀬俊汰くん、島津和虹くん



繁藤慰霊祭

7月5日、第45回繁藤山崩れ殉職・殉難者追悼慰霊祭が、哀悼の広場（土佐山田町角茂谷）で行われました。

慰霊祭に先立ち、香長小学校の児童と鏡野中学校の生徒が、自分たちで折った千羽鶴を供え、全員で黙とうをささげました。慰霊祭には遺族や関係者ら約100人が参列し、犠牲者のめい福を祈りました。

繁藤災害は昭和47年7月5日、豪雨による追廻山の崩壊で生き埋めとなった消防団員の救助活動中に、大きな山崩れが発生した大災害です。新改川で流されて亡くなった1名と合わせ61名の方が犠牲となりました。

姉妹都市交流だより

香美市姉妹都市友好都市交流推進協議会（西山武会長）が主体となり、毎年行われている積丹町への訪問・交流事業（6月25～27日）で、11人の訪問団が積丹町を訪れました。

札幌市内からも多くの観光客が訪れる味覚祭りには、今年で20回目の参加となりました。とれたてのウニ・エビなどが入った直径1.5mの大鍋で作る浜鍋など、積丹町ならではの味覚を存分に楽しむお祭りで、夜間は納涼祭や打ち上げ花火が行われるなど大変な盛り上がりとなりました。

訪問団は、会場で香美市の地場産品である土佐打刃物や、ユズの関連商品を販売したほか、高知県の味覚を代表する鱈のたたきを販売し、なかなかの盛況ぶりでした。



北の大地で絆の踊り

▲札幌市内で踊る香美市の踊り子

第25回YOSAKOIソーラン祭りが、6月8日から5日間、札幌市で開催され、大勢の観客でにぎわいました。

今年は、踊り子隊と訪問団総勢35人が参加し、姉妹都市積丹町と22年連続でヤーレンソーラン積丹町&香美市※を結成し、参加しました。

一行は、10日に積丹町に着き、合同練習を行いました。そして、11・12日の両日、大通公園をはじめとする札幌市内の会場で繰り広げられた本祭に参加しました。合同チームは、高知県のよさこい鳴子踊りと積丹町発祥の民謡ソーラン節を融合させた楽曲に乗り、笑顔で掛け声を発しながら元気よく踊って、大きな拍手と声援を受けていました。

※香美市27人・積丹町42人の総勢69人の踊り子が参加。

社会を明るくする運動

第66回社会を明るくする運動強調月間に合わせて、7月1日に土佐山田町の八王子宮境内で同運動推進委員会主催による決起集会が開かれ、市内の各種団体や企業などから約200人が参加しました。

この運動は、犯罪や非行の防止と、罪を犯した人たちの更生に理解を深め、犯罪や非行のない明るい社会を築こうとする全国的な運動です。集会後には、県警音楽隊を先頭に、パレードや広報車の巡回などが行われ、運動への理解を呼びかけました。



やまびこ芸能祭

6月12日、第18回やまびこ芸能祭が奥物部ふれあいプラザで開催されました。

大栃保育園児によるダンスや、大栃中学校吹奏楽部・鏡野吹奏楽団による合同演奏、物部民踊部、和奏流もみじ会の踊り、物部社交ダンスサークルによるダンス、歌などが披露され、大いに盛り上がりました。

また、会場のお客さんと一緒に手遊びや体操をする場面もあり、和やかで楽しいひとときを過ごしました。

